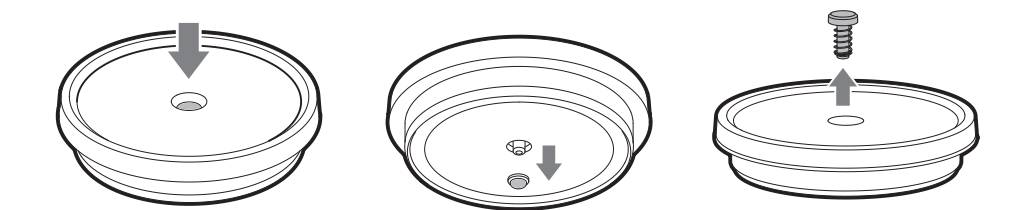


調圧弁セットの取りはずし方・取り付け方

調圧弁セットの取りはずし方

ふたセットを取りはずした状態で調圧弁を押し、そのままふた下面の調圧弁パッキンを取りはずし、ゆっくりと調圧弁と調圧弁スプリングを取りはずします。この時スプリングを無くさないように気をつけてください。



調圧弁セットの取り付け方

調圧弁に調圧弁スプリングをつけた状態でふたの穴に入れて押す。そのままふた下面に出た調圧弁に調圧弁パッキンを取りつける。
※2〜3回調圧弁を押して調圧弁パッキンがしっかり取り付けられていることを確認してください。

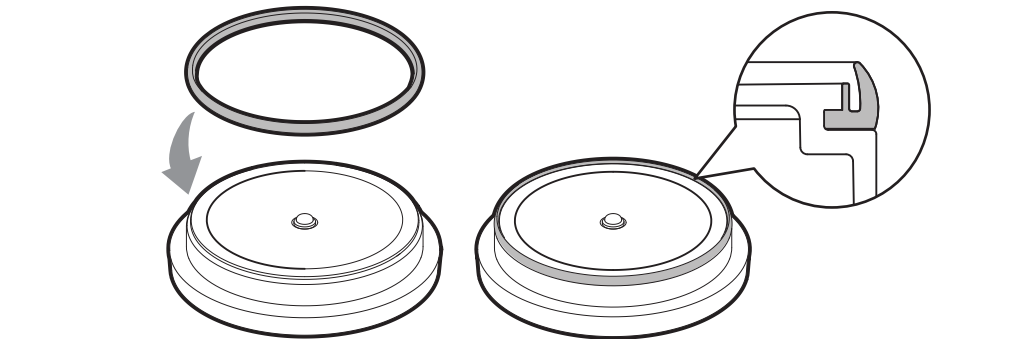
ふたパッキンの取り付け方

正しく取り付けられていないと、
もれの原因となります。

お手入れなどで、パッキンを取りはずした後は、次の内容を読んで正しく取りつける。

ふたパッキンの取り付け方

ふたにふたパッキンを取りつける。



※正しく取り付けないと、内容物がもれる原因となります。

赤サビ状の斑点や水アカなどのお手入れ

使用中、水質や不純物などにより本体内側に「赤サビ状の斑点」が出たり「水アカ」が付着することがあります。このような場合は、以下の手順でお手入れをしてください。

- ① 濃度0.5〜1%程度のクエン酸水溶液を入れる。
※1リットルの水かぬるま湯にクエン酸5〜10gが目安です。
- ② 約3時間後にスポンジブラシなどで内側を洗い、水で十分にすすぐ。
- ③ 十分に乾燥させる。

- ご使用前、ご使用後は十分にお手入れをしてください。においを防ぎ清潔にご使用いただけます。
- 他のものと一緒にお手入れするときは、製品に傷がつかないようにご注意ください。

こんなときは

次の項目について確認をおこなってください。いずれの場合もあてはまらない場合は、お客様相談窓口へご相談ください。

症 状	確 認 す る と こ ろ	処 置
■保温保冷が効かない	本体が破損していませんか。	本体に熱湯を入れ、20分〜30分後本体を手で触ってみてください。本体が温かい場合はお買い上げの販売店もしくは、弊社のお客様相談窓口にご相談ください。
■ふたからもれる	ふたパッキン・調圧弁セットが正しく、しっかり取り付けられていますか。	P5の取り付け方を参照しふたセットが浮かないことを確認してください。

※ふたパッキン・調圧弁セットは消耗品です。
使用後半年から1年を目安にご確認ください。

アフターサービス部品について

本取扱説明書に記載されている製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年となっております。
その他、製品に関してのお問い合わせにつきましては、お買い上げの販売店もしくは弊社のお客様相談窓口にてご相談ください。

消耗部品のご購入について

製品型名・容量・色柄・部品の正しい名称をご確認のうえ、下記方法でお求めください。（製品型名は製品底面に貼ってあるラベルに記載されています。）

- ①ホームページ……トップページのオンラインショップからお求めください。（取扱部品が限られておりますが、ご了承ください。）
- ②販売店……ピーコック製品を取扱っている販売店でお取り寄せください。
- ③お客様相談窓口……お電話もしくはFAXにてお申込みください。

部 品 名
IGN型 ふたセット（調圧弁セット、ふたパッキン）
IGN型 ふたパッキン
IGN型 調圧弁セット（調圧弁、調圧弁スプリング、調圧弁パッキン）
IGN型 中敷き

※各消耗部品については、各部のなまえの項目をご覧ください。

ホームページアドレス <https://www.the-peacock.co.jp>

お客様相談窓口



0570-094891

- 受付時間 9:00〜12:00 13:00〜17:00
月曜日〜金曜日（祝日・弊社休業日を除く）
- ナビダイヤルがご利用いただけない場合はこちらへ
06-6453-9489
- FAXでのお問い合わせ FAX番号 06-6453-9589
製品型名（品番）・お問い合わせ内容と、お客様のお名前・ご住所・電話番号・FAX番号を記入のうえ、FAXでお問い合わせください。



ピーコック魔法瓶工業株式会社

〒553-0002 大阪市福島区鷺洲5丁目12番20号

Peacock

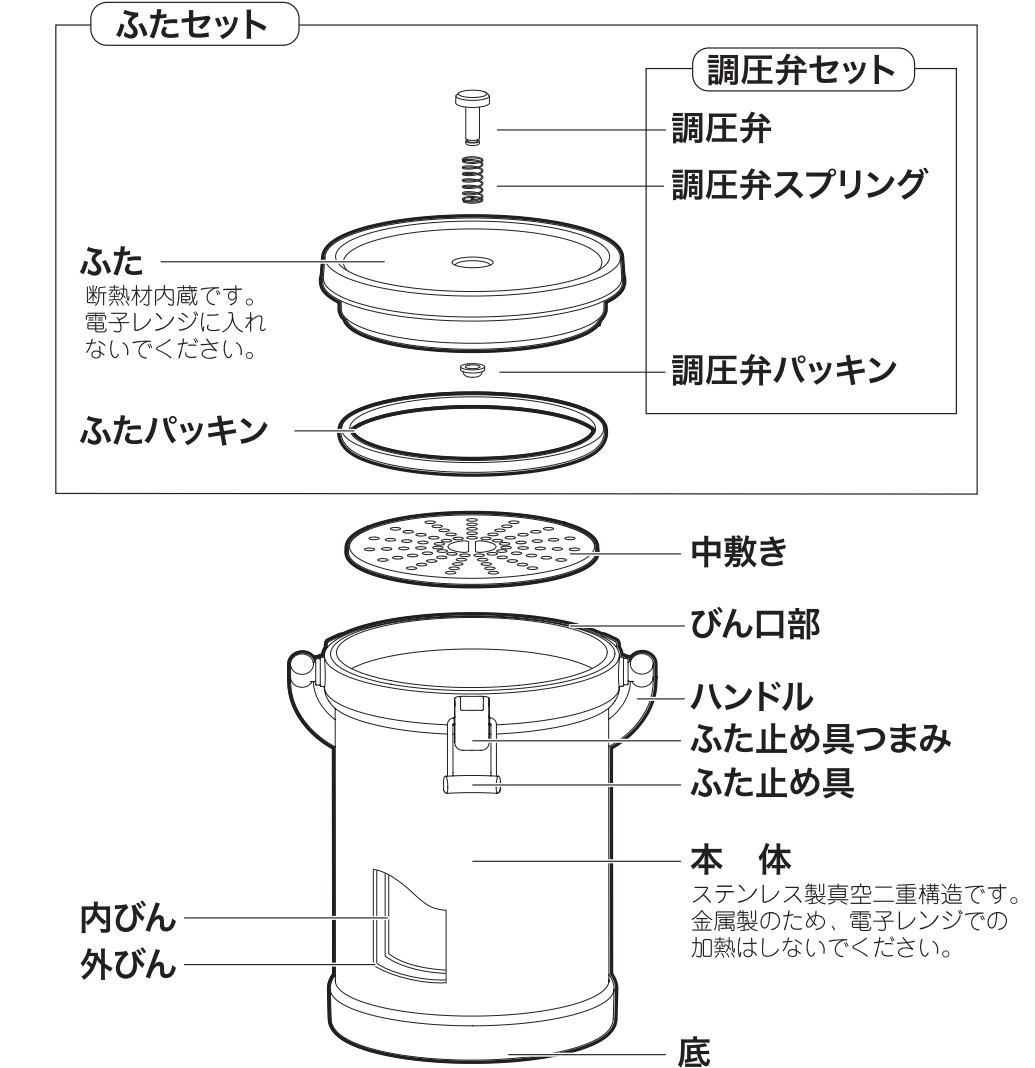
クーラーバケット

取扱説明書

IGN 型

このたびは、ピーコック製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。また後々のため、この取扱説明書を大切に保管してください。

各部のなまえ



取扱説明書中のイラストは、実際のものと異なる場合があります。 ①

安全上のご注意

- **ドライアイスは絶対入れない。**
本体内の圧力が上がり、ふたセットがあかなかったり、内容物がふき出たり、部品が破損して、けがのおそれ。
- **炭酸飲料は絶対に直接入れない。**
本体内の圧力が上がり、ふたセットがあかなかったり、内容物がふき出たり、部品が破損して、けがのおそれ。
- **密閉容器なので生き物はいれない。** 窒息のおそれ。
- **乳幼児の手の届くところには置かない。またいたずらに注意する。**
やけど・けがなど危険。
- **ストーブやコンロなど火のそばに近づけない。** 変形・変色の原因。
- **飲みものは、規定量までにする。** 入れすぎると、もれ・あふれ・やけどなどのおそれ。
- **製品の横置きは避ける。** もれるおそれ。
- **倒したり、落したりぶついたり、強い衝撃を与えない。**
破損・保温(保冷)効果の低下・サビ・塗装はがれ・内容物がもれる原因。
- **長時間の保存は避け、使用後はすぐにお手入れをする。**
外出時など十分なお手入れができない時でも、使用したあとはすぐに本体内側をよく水ですすぐ。腐敗・変質・カビの発生・におい移り・サビ・保温保冷効力の低下の原因。
長く放置した場合、腐敗・変質によりガスが発生して本体内の圧力が上がり、内容物がふき出たり、部品が破損して、けがなどのおそれ。飲食物がもれるおそれ。
- **固形物を入れる際は、必ず中敷きを使用して、規定量までにする。**
内びんの傷や変形のおそれ。
- **液体物を入れる際は、中敷きを使用せず、規定量までにする。**
- **バッテリー、危険物、薬品などの保管には使用しない。** 破損のおそれ。
- **持ち運ぶ際は、ふたの止め具で確実にふたをしめる。**
もれやけがなどのおそれ。
- **ふた止め具の開閉の際、ハンドルの上げ下げ時に指を挟まないように注意する。**
- **ふた止め具は必ず3カ所しめて使用する。**
ふたがはずれ、けがやものを汚すおそれ。
- **調圧弁セット・ふたパッキンは必ずつけた状態で使用する。**
もれの原因。

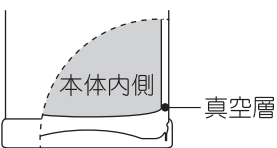
- **車などに乗せて運ぶ場合は、転倒させないように注意する。また、パソコン・携帯電話・カメラなどの精密機器と一緒に持ち運ばない。**
万一飲みもののもれがあった場合、精密機械の破損の原因。
- **長時間日光や紫外線のあたる場所に置かない。** 変色や変形のおそれ。
- **車の中や直射日光の当たる場所など高温になる場所に放置しない。**
保冷効果が落ちて内容物が腐敗するおそれ。
- **アイスピックは使用しない。**
傷・もれ・変形、および保冷できなくなるなど故障の原因。
- **改造や分解修理はしない。** 故障や事故の原因。
- **冷蔵庫に入れない。** もれなど故障の原因。

直接熱い液体物を入れる場合

- **熱いやかんやお鍋などをびん口部に触れさせない。**
転倒しやけどなどのおそれ。傷・変形の原因。
- **ふたを開ける前に必ず調圧弁ボタンを押して、容器内圧力を外気圧と同じにしてからふた止め具ははずす。**
内容物がふき出したりするおそれ。
- **熱いものを直接入れた直後、本体を振らないでください。**
内圧が上がり、内容物がふき出したりするおそれ。
- **乳製品を含む飲食物やスープなどは、必ず一度加熱処理したものをを入れる。** 腐敗や変質のおそれ。長く放置した場合、腐敗・変質によりガスが発生して、本体内の圧力が上がり、飲食物がふき出たり、部品が破損して、けがのおそれ。
- **熱いものを直接入れた場合は、やけどのおそれがあるので注意する。**
断熱効果により、熱いものを入れても本体外側は熱くなりません。

真空層の内部から水の音がする場合は、使用しない。

保温・保冷効果が低下するおそれ。真空層にたまった水が本体内側にしみ出した場合、飲んで体調不良を起こす原因。

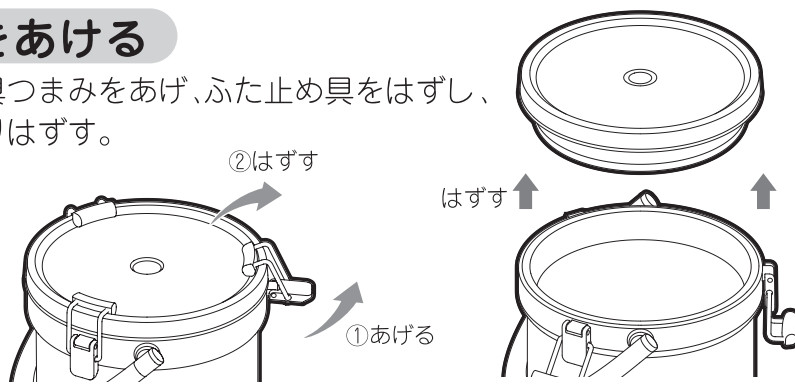


ご使用方法

はじめにご使用になる前に、ふたセット・中敷き・本体を洗ってください。

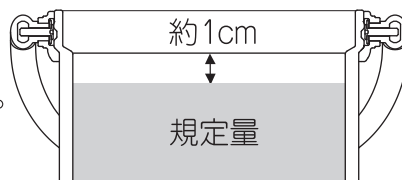
1 ふたをあける

ふた止め具つまみをあげ、ふた止め具ははずし、ふたを取りはずす。



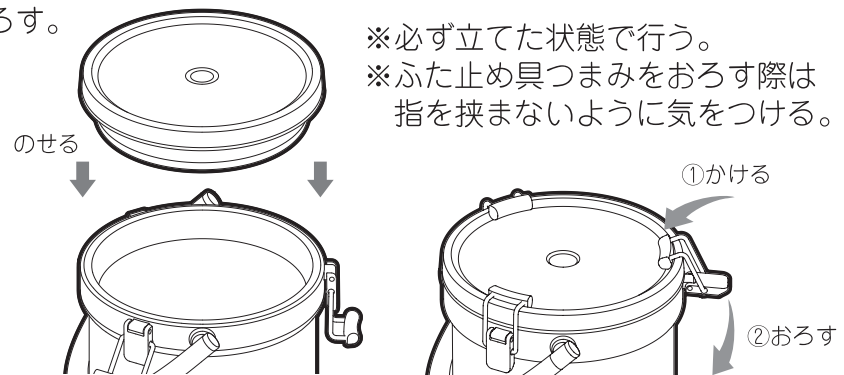
2 本体に入れる

中敷きを使用して内容器を傷つけないように静かに入れる。
※入れる量は、ふた下約1cmまでにする。
入れすぎるとふたのしまりが悪くなるなど、故障の原因になります。



3 ふたをしめる

ふたを本体にのせ、ふた止め具をふたに引っかけ、ふた止め具つまみを下におろす。



液体物を入れる場合

中敷きを使用せずにゆっくり入れる。
※内容物はふた下1cmまでにする。
入れすぎると、ふたを置いた際にあふれやもれ・やけどの原因になります。
※熱い液体を入れた場合は、本体をゆすらない。
※ふたがあかない場合は調圧弁を押し、容器内圧力を外気圧と同じにする。

お手入れ方法

- ◆ご使用後は、必ずその日のうちにお手入れをする。
- ◆お手入れをするときは、やわらかいスポンジ以外は使用しない。
- ◆においを防ぐため、こまめにお手入れをする。

本体外側

湯で薄めた台所用中性洗剤をやわらかい布に含ませ、固く絞り、汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきする。

本体内側・ふた・中敷き

水またはぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジに含ませて洗い十分にすすぎ洗いした後、すぐに乾いた布で水分をふきとる。
※つけ置き洗いはしない。

調圧弁セット・パッキン

ふたから取りはずし、水またはぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジに含ませて洗い十分にすすぎ洗いした後、すぐに乾いた布で水分をふきとる。P.5（調圧弁セットの取りはずし方・取り付け方）、（ふたパッキンの取り付け方）を参考にしてふたに確実に取り付ける。（パッキン表面にゴミなどが付着していると、もれの原因）

お手入れ上の注意

お手入れ前によくお読みのうえ、必ずお守りください。

- 塩素系漂白剤は使用しない。 サビ・穴あきなど故障の原因。
- 本体外側は、漂白剤を使用しない。 サビ・塗装はがれのおそれ。
- 本体内側に酸素系漂白剤を使用する際は、ふたセットを取りつけない。 本体の内圧が上がり危険。
- シンナー・ベンジン・金属たわし・たわし・みがき粉・クレンザー・化学ぞうきん・台所用以外の洗剤などは使用しない。 傷・サビなど故障の原因。
- 本体・ふたセットの煮沸および食器洗浄機、食器乾燥機などの使用はしない。 傷・サビ・変形・もれなど故障の原因。
- 本体の丸洗い、つけ置き洗い(水中に放置)はしない。
- 本体内側・ふたセットを丸洗いした後は、必ず水分をふきとる。 ふきとらないと、水滴のあとが残ったり、サビや他のものを汚す原因。
- 長期間ご使用にならないときは、よくお手入れをして汚れを落とし、十分乾燥させて高温多湿を避けて保管する。